

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	二塚 保之
評価者	組織	都市計画課	職	課長	氏名	二塚 保之

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	190 (H37)	148 (H27)	152 (H28)	A

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成	1 景観形成のための協定を締結した地区数	地区	190 (H37)	148 (H27)	152 (H28)	1 美しい石川の景観づくり推進費	全県民	6,046	5,344	A	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 美しい石川の景観づくり推進費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	景観法、いしかわ景観総合条例		

作組	織	都市計画課 景観形成推進室			
成職	氏名	専門員 勝田 航			
者電	話番号	076 - 225 - 1759 内線 5222			

事業の背景・目的

石川県は、霊峰白山や美しい能登、加賀の海岸などの自然環境、のどかな里山、歴史的・伝統的な街なみなど、優れた景観資源を有している。
 県では、この優れた景観資源を継承するとともに、新たな景観を創出し、いしかわの魅力をさらに高めてゆくため、全国で初めて景観と屋外広告物の条例を一本化した「いしかわ景観総合条例」を制定した。地域の魅力向上のため、条例に基づき総合的かつ強力に景観施策を推進してゆく。

事業の概要

H20 <いしかわ景観総合条例の制定>
 本県独自の理念や施策を盛り込み、景観施策を総合的かつ強力に推進するための条例

- 1 市町を超えた広域的な景観づくりを推進、地域特性に応じた規制・誘導
- 2 眺望景観の保全
- 3 屋外広告物施策との一体的な推進
- 4 里山景観等の保全・再生
- 5 新たな景観形成手法の導入
- 6 官民協働の推進体制の充実

H21～ 条例施行から実行へ、景観づくりの更なる推進

H28 いしかわ景観教室等の開催
 景観づくりを担う人材育成や、県民の景観形成に対する意識を高めることを目的として、いしかわ景観教室・いしかわ景観大賞・いしかわ広告景観賞等の普及啓発事業を実施する。

能登の里山里海景観の保全
 世界農業遺産にも認定された能登の里山里海の、優れた景観を保全・再生する取組みを推進する。

これまでの見直し状況 特になし。

施策・課題の状況

施策	いしかわ景観総合条例による美しい景観の保全と創出	評価	A
課題	地域特性に応じた景観形成の取り組みへの支援と良好な景観に対する意識の醸成		
	指標	景観形成のための協定を締結した地区数	単位 地区
	目標値	現状値	
	平成37年度	平成24年度	平成25年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	190	114	127
		137	148
	152		

事業費

	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	9,829	9,327	8,034	6,571	6,046
	決算	9,387	8,008	6,980	5,540	5,344
一般	予算	9,029	8,527	7,234	5,771	5,246
	決算	8,587	7,208	6,180	4,740	4,544
事業費累計		48,447	56,455	63,435	68,975	74,319

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	建築物や屋外広告物の規制・誘導について、適宜、あり方の検討や基準の改正等を実施し、良好な景観形成に寄与している。 併せて、顕彰事業や子供向け出前講座などの普及啓発事業も実施し、良好な景観形成に対する県民の意識の向上に寄与している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民生活の豊かさや、いしかわの魅力のより一層の向上のため、引き続き本県の良好な景観を保全・創出していく。 良好な景観形成のための規制・誘導のあり方の検討や、県民意識の向上施策に、継続して取り組んでいく。